

広報田辺

高校生が特派員に

市内の5校 順番にコラム掲載

田辺市の「広報田辺」の紙面制作に、10日から市内の高校生が「特派員」として加わった。5校から6人が参加。毎月、2分の1ページ分のコラムを担当する。高校生ならではの視点で地域の魅力を発見、発信してもらいたいという。

広報田辺は毎月1回、28頁(神分校3年)▽里田汐音(田辺2年)。任期は来年3月末まで。

6月号を担当する池永さんは「地域の隠れた特産品を紹介したい」、名越君は「地域の小さな祭りなどを取り上げて、みんなに知ってもらいたい」と意気込みを語った。

この日、「特派員」の委嘱式が、市役所市長室であった。真砂充敏市長は「大人にない視点で田辺の魅力をPRしたり、問題提起したりしてほしい」とエールを送った。

「特派員」は次の皆さん。
池永彩乃(神島3年)▽名越大地(田辺工業3年)▽北村佳奈(南紀2年)▽盛永なつみ(同)▽久保明之(南部龍

真砂充敏市長から委嘱状を受け取る「広報田辺ましかど特派員」の高校生(10日、田辺市長室で)



は広報を「ほとんど読んだ」とがないう生徒もいる。若者に市政に興味を持ってもらう狙いもあるという。